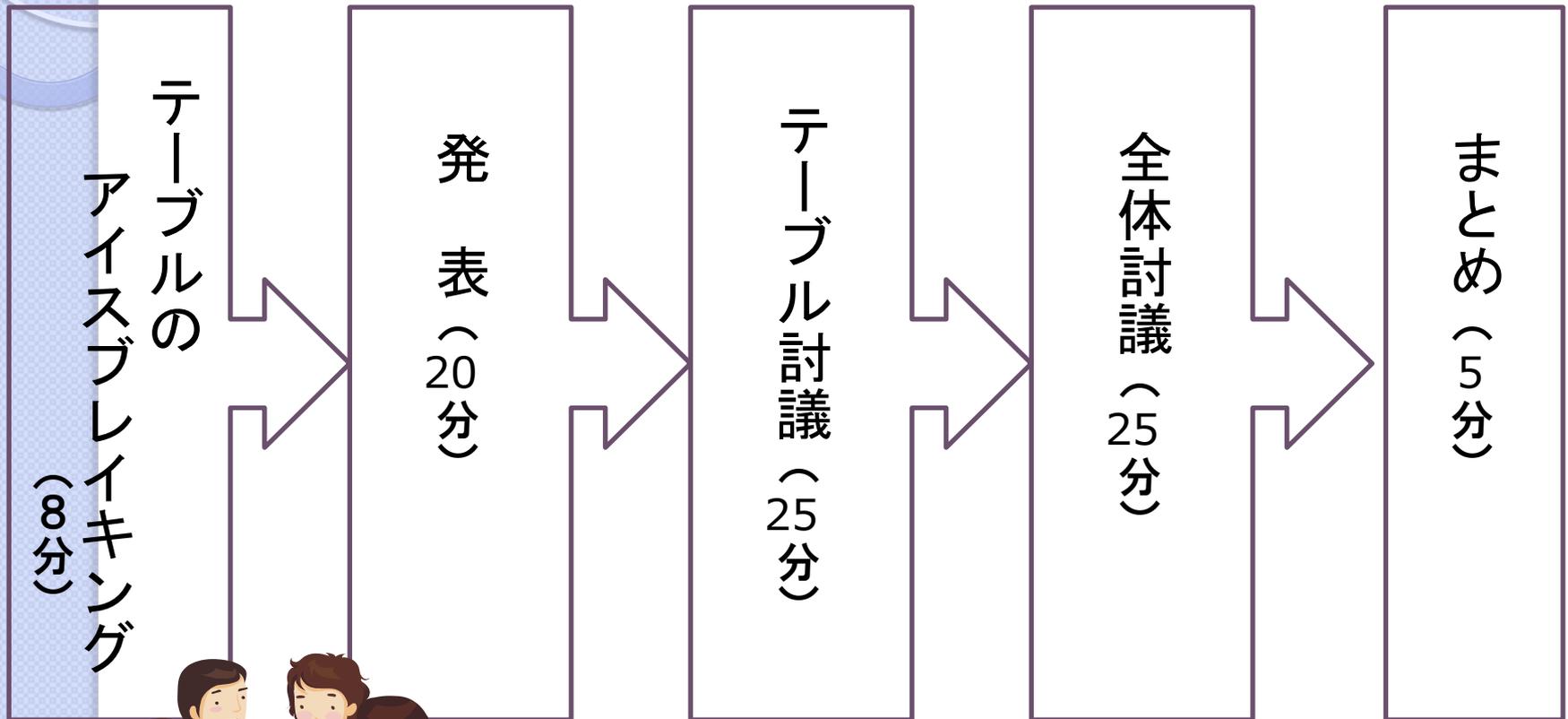


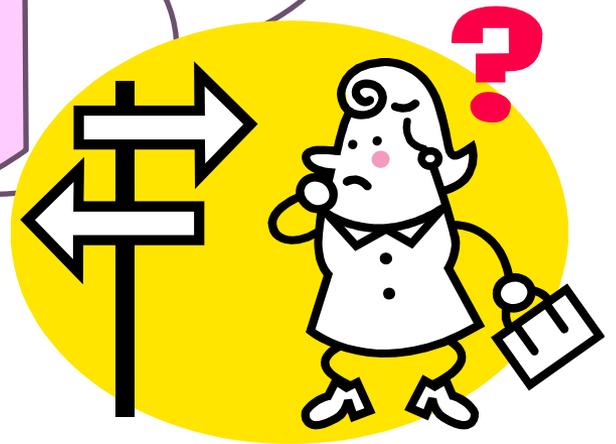
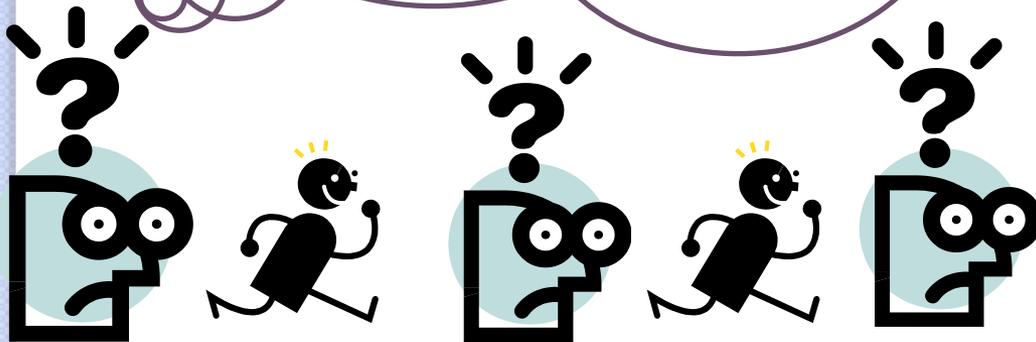
本ラウンドテーブルの流れ



全体90分

なぜラウンドテーブルか

発表を材料に
会場と
意見交換を！





活動型授業における教師の介入

—内容重視の教育でいかに言語指導を行うか—

川崎 加奈子(長崎外国語大学)
近藤 有美(名古屋外国語大学)

1. はじめに

• 活動型授業における教師の役割

池田・舘岡(2007)

- ・ 適切な授業をデザイン
- ・ 介入したり促したりして、学習活動を支援
- ・ 仲間の教師とのディスカッション

細川(2007)

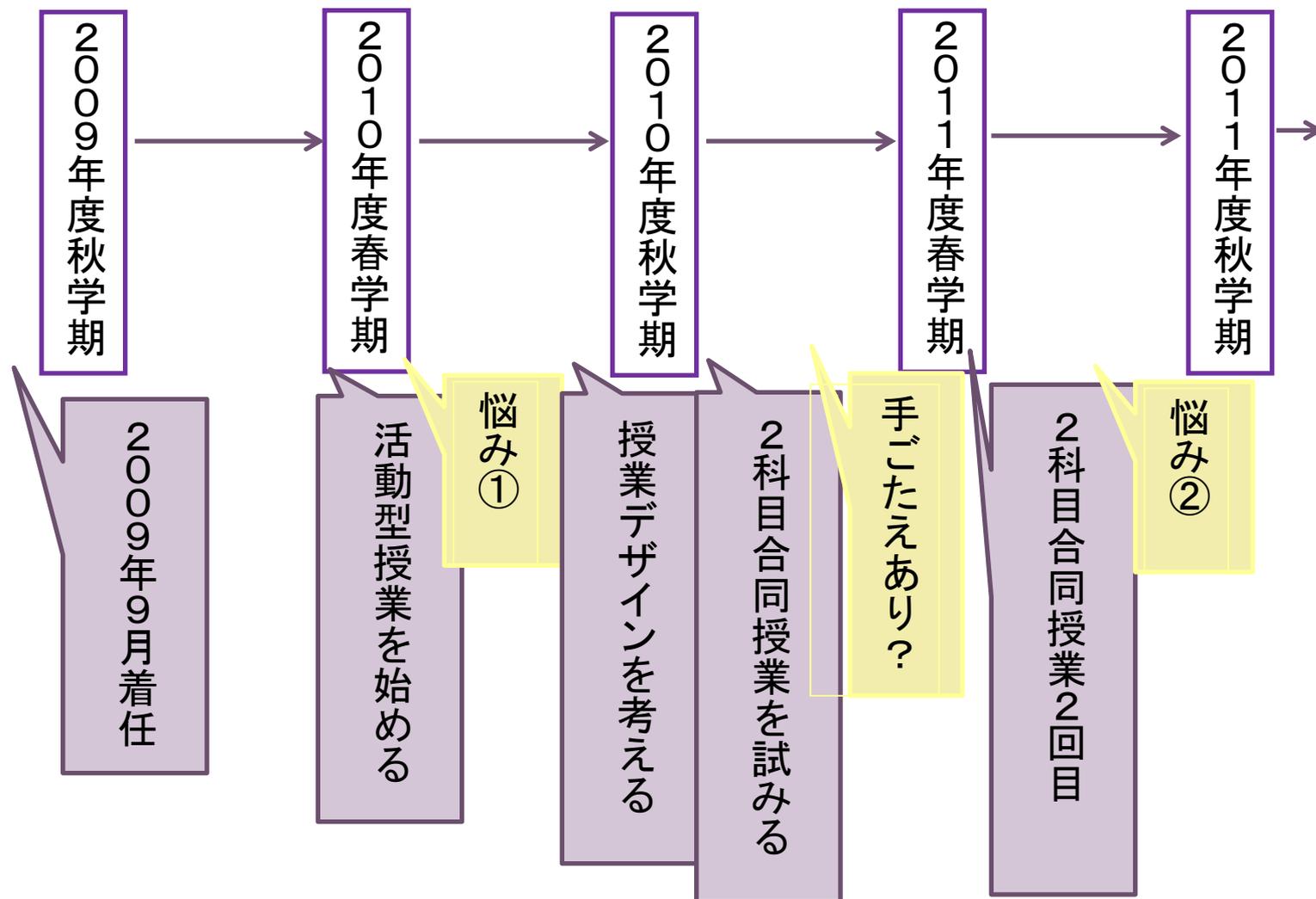
- ・ 言語活動が活性化するような場を設定

池上(2002)

- ・ 学習者が主体的に関与していけるシステムの構築
- ・ 学習者にとって必要な体験の機会を作る

2. 2年間の取り組みの概要とその問題点

2.1 実践の概要



2. 2年間の取り組みの概要とその問題点

2.1 実践の概要

- **実践期間**

2010年度春学期～2011年度秋学期（2年）

- **対象**

長崎の大学で学ぶ学部3年の留学生

- **日本語レベル**
初級～上級

2009年秋学期
・クラス内の
インタビュー
・他者紹介
・スピーチ

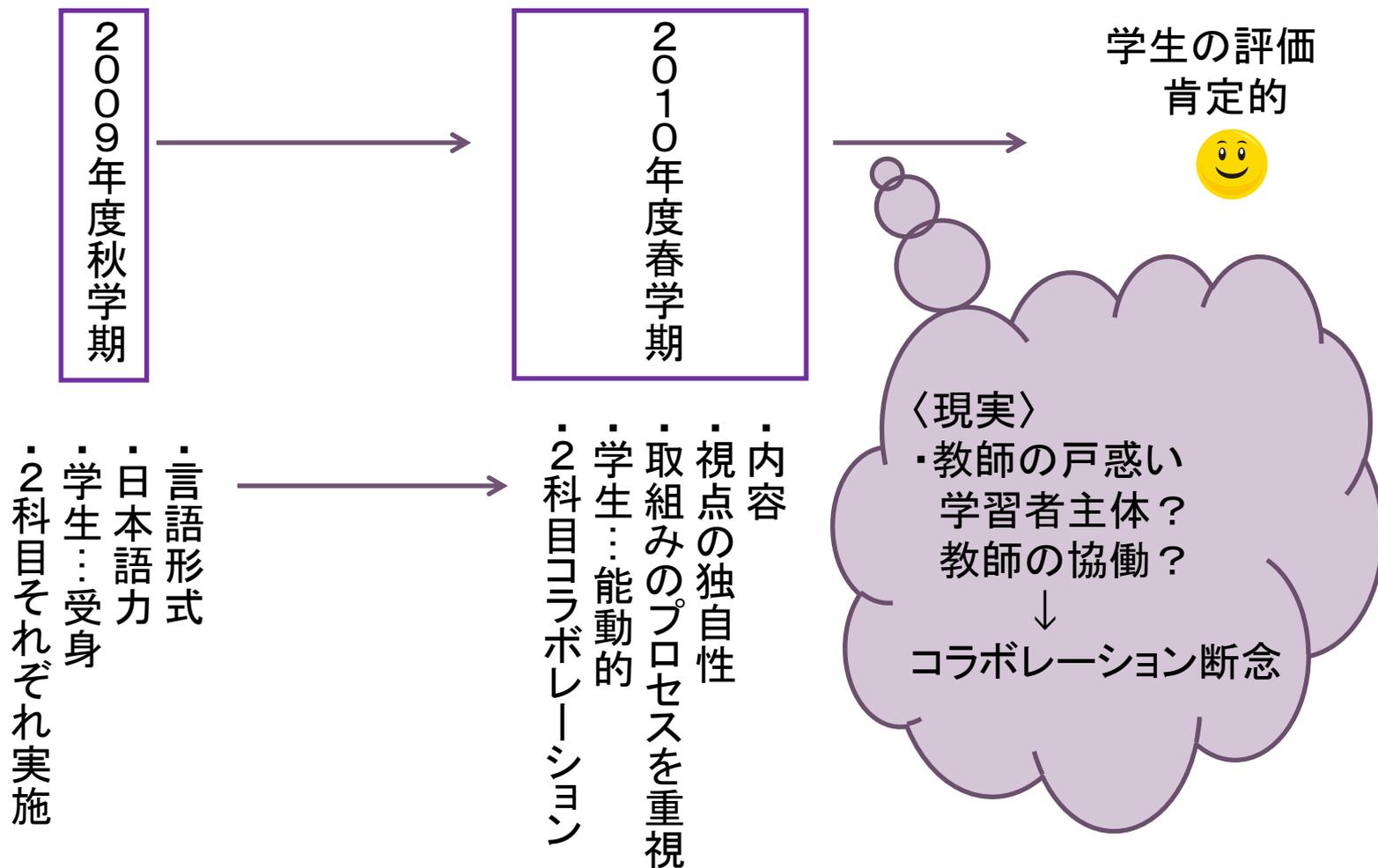
2009年秋学期
・聴解授業
・教師主導
・テキスト使用

- **科目**

「上級総合日本語」 「情報日本語」

2. 2年間の取り組みの概要とその問題点

2.1.1 2010年春学期（模索期）

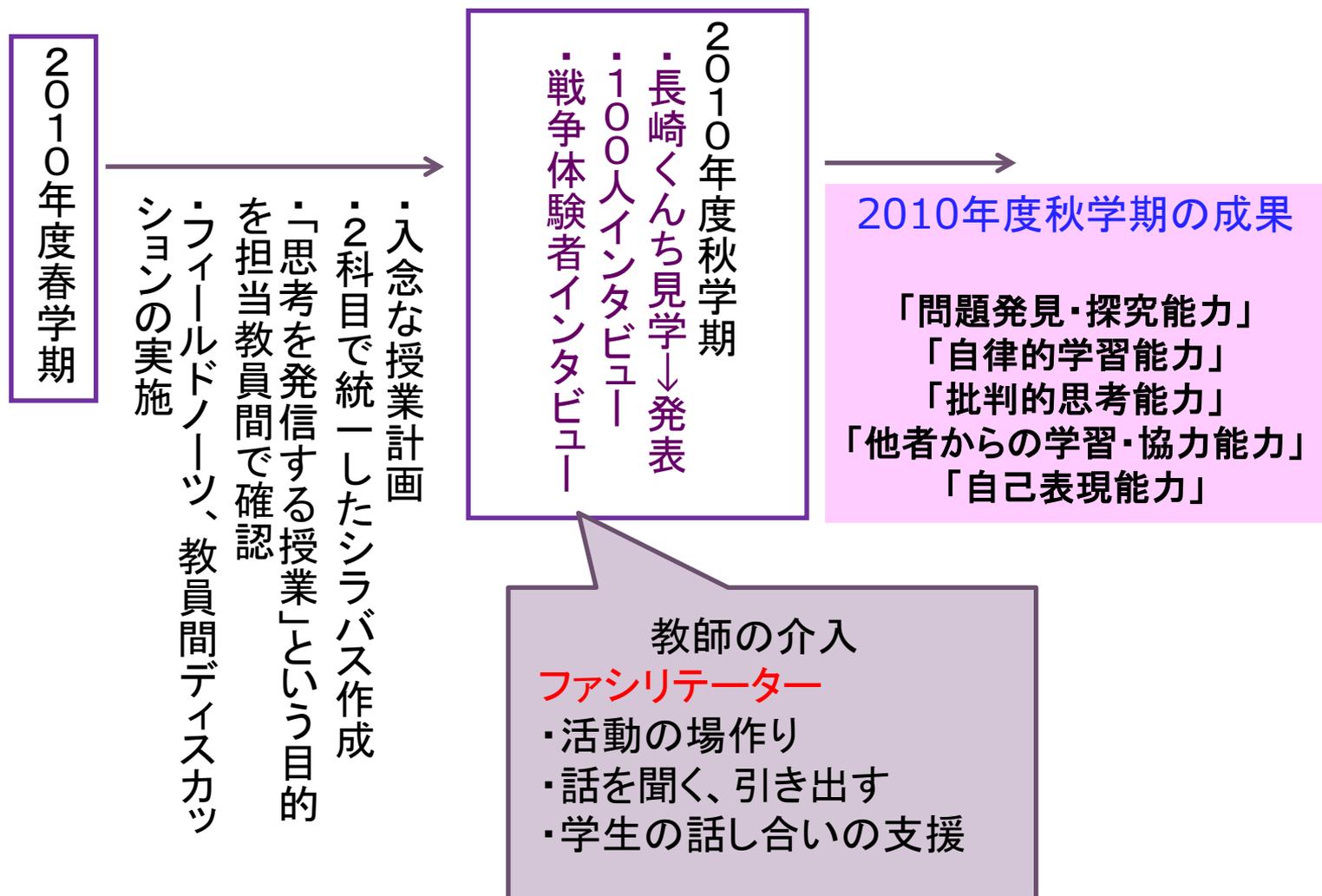


2010年春学期の反省点

- ①従来型の授業ではないスタイルへの迷いがあった
- ②授業デザインをもっとしっかり作っておくべきだった
- ③学期途中で担当教師が十分ディスカッションの時間をとらなければならなかった

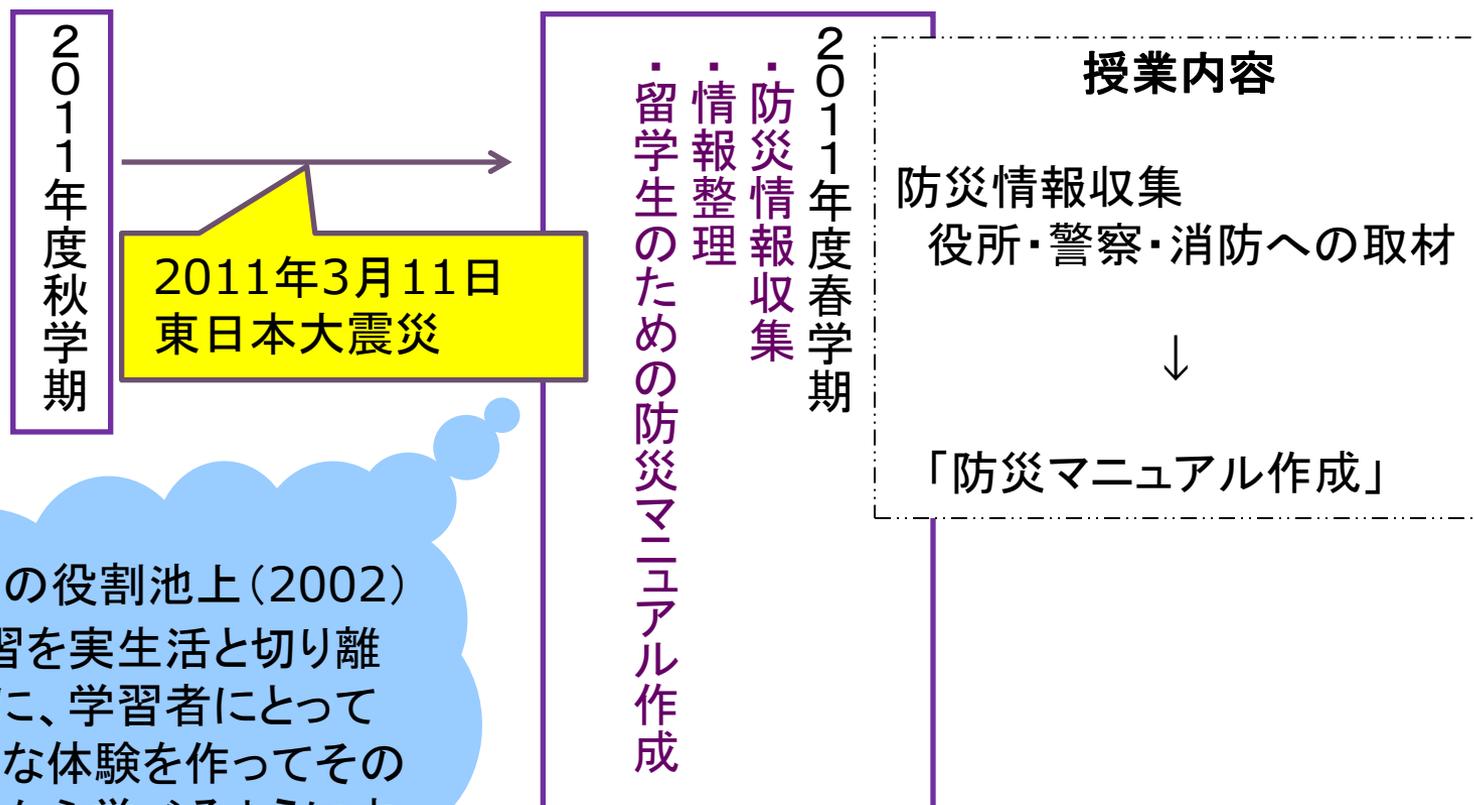
2. 2年間の取り組みの概要とその問題点

2.1.2 2010年度秋学期（揺籃期）



2. 2年間の取り組みの概要とその問題点

2.1.3 2011年春学期（萌芽期）



教師の役割池上(2002)
「学習を実生活と切り離さず、学習者にとって必要な体験を作ってその体験から学べるようにする」

2. 2年間の取り組みの概要とその問題点

2.1.3 2011年春学期（萌芽期）

2011年度春学期
・防災情報収集
・情報整理
・留学生のための防災
マニュアル作成

授業内容

防災情報収集
役所・警察・消防への取材



「防災マニュアル作成」

教師の介入

①学生からの情報の引き出し
学生の情報 > 教師の情報

役所
警察 からの情報
消防



聞いて！
聞いて！

②引用について
情報源を問う！
「これはどこからの情報？」
「これは何から得たもの？」

2. 2年間の取り組みの概要とその問題点

2.2.1 萌芽期から発育期へ（2011年度春）

授業に
活気

- ・ 授業経験者の先導
- ・ 自分の考えを話す

誤用が
気になる

- ・ 誤用満載の原稿を練習
- ・ 学生の振り返り

「私の日本語一番弱いところは文法ですが、
今後は文法について普通の授業を受けたい

教師の
葛藤

教師同士
討議

明らかな誤用を放置

【内容重視】
自分の考えを
表現する

【言語重視】
目に見える
日本語力の向上

自分の言いたいことから
離れる



★新たな介入

- ① PowerPointの**全ての漢字に読み仮名**
 - 表記の重要性と便利さに気づく
 - 特殊音に注意して発表
- ② **「グループで」**作業する
 - 一つの画面を複数の学習者で
 - 技術面の教え合い
 - 協働作業による修正

2.2.1 発育期から成長期へ（2011年度秋）

★課題

「長崎くんち」「戦争体験者インタビュー」

「中華街インタビューによるライフストーリーの記録」

ファシリテーター ⇒ 積極的な介入

《長崎くんちの場合》

～学生～

自分の思いを
外に出せない



～教師～

「引き出し」

Q：何を見た？

Q：それで何を感じた？

Q：グループでどうする？

積極的な介入

《戦争体験インタビューの場合》

～学生～

「テーマは
“平和の大切さ”」



～教師～

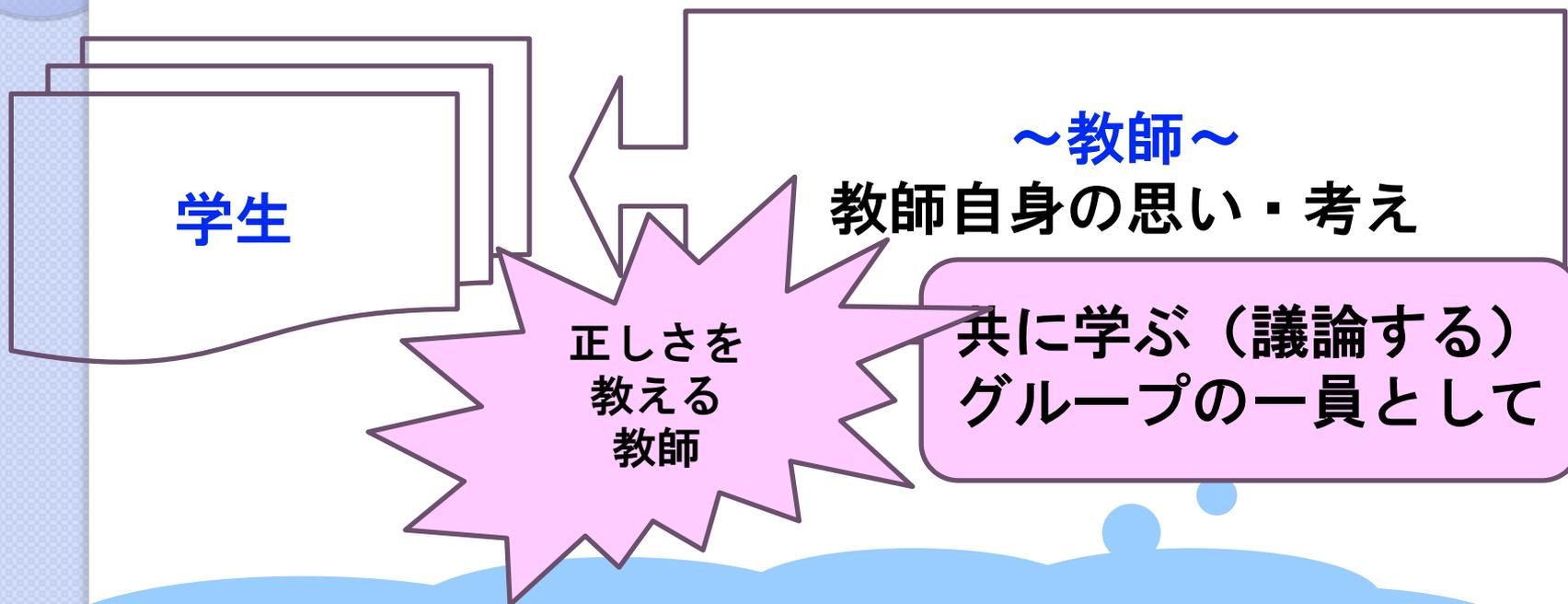
「引き出し」

- Q：どの言葉からそう思った？
- Q：どんな言葉でそれを表現する？
- Q：グループでどうする？



積極的な介入

～ファシリテーターとしての役割を超える～



牛窪(2005)「ファシリテーターとしての役割を超える」
「より大きな教室活動のダイナミズムに位置付けられる可能性」

～教師～ 言語面での介入

- ①原稿の事前添削、割り振り
- ②原稿の漢字にもルビ
- ③練習時の発音アドバイス

「毎日毎日練習して、日本語がなめらかでわかりやすいようになってきた」

上達を実感

「先生たちから指導してもらったら、自分の弱点を注意して～できるだけきれいな日本語を使う」

自分の日本語への
気付き

「自分の考えで、正しい日本語を使って発表することができた」

達成感

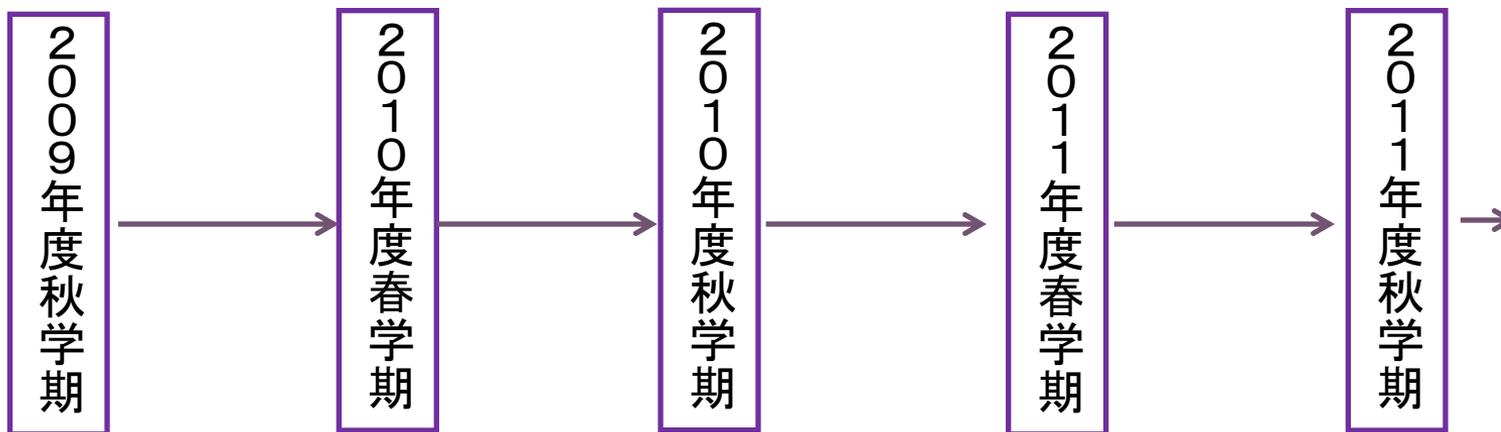
～学生～

取り組みが積極的に

- 発話が固定化、自由度が下がった
- 内容の検討が浅くなった



2年間の教師の介入の変化



内容

言語

活動型授業で 教師は何をするべきか？



内容重視

言語重視

模索の過程／要因

担当教師

学外教師

学生

- 日本語力
- 雰囲気
- 参加度
- 批判

学内教師

研修会

「自分の実践や研究を他者から見えるように透明化し、**仲間の教師に外化（開示）**することは、**互いに学び合う**機会を作ることでありまた、自分自身を意識的に振り返ること」池田玲子

介入の方法に
正しい答えは存在しない？

模索・意見交換・協働作業
&
進化

教師の介入の
あり方

各テーブルにて ご意見をまとめてください。

賛成

批判

改善提案=

自分の教育機関で行うとすれば・・・

話し合いの結果は・・・

「1グループ3分+Q&A2分」で
発表していただきます。